

JFA女子テクニカルレポート 2009

”世界のなでしこを目指して！”

FIFA Women's World Cup China 2007

Women's Olympic Football Tournament Beijing 2008

FIFA U-20 Women's World Cup Chile 2008

FIFA U-17 Women's World Cup New Zealand 2008



【目次】

1. イントロダクション	1
2. FIFA女子ワールドカップ 中国 2007.....	2
3. オリンピック競技大会 2008／北京	10
4. FIFA U-20 女子ワールドカップ チリ 2008	18
5. FIFA U-17 女子ワールドカップ ニュージーランド 2008	24
6. Japan's Way 「攻守にアクションするサッカー」	32
～ 育成年代で取り組むべきこと	
7. 育成年代の指導者のかかわり i	35
フィジカルトレーニング	
8. 育成年代の指導者のかかわり ii	38
メディカルアプローチ	
9. 育成年代の指導者のかかわり iii	41
メンタルケア	
10. JFAの取り組み	50
11. 終わりに	56

1. イントロダクション

テクニカルスタディ

世界のサッカーは日々変化している。

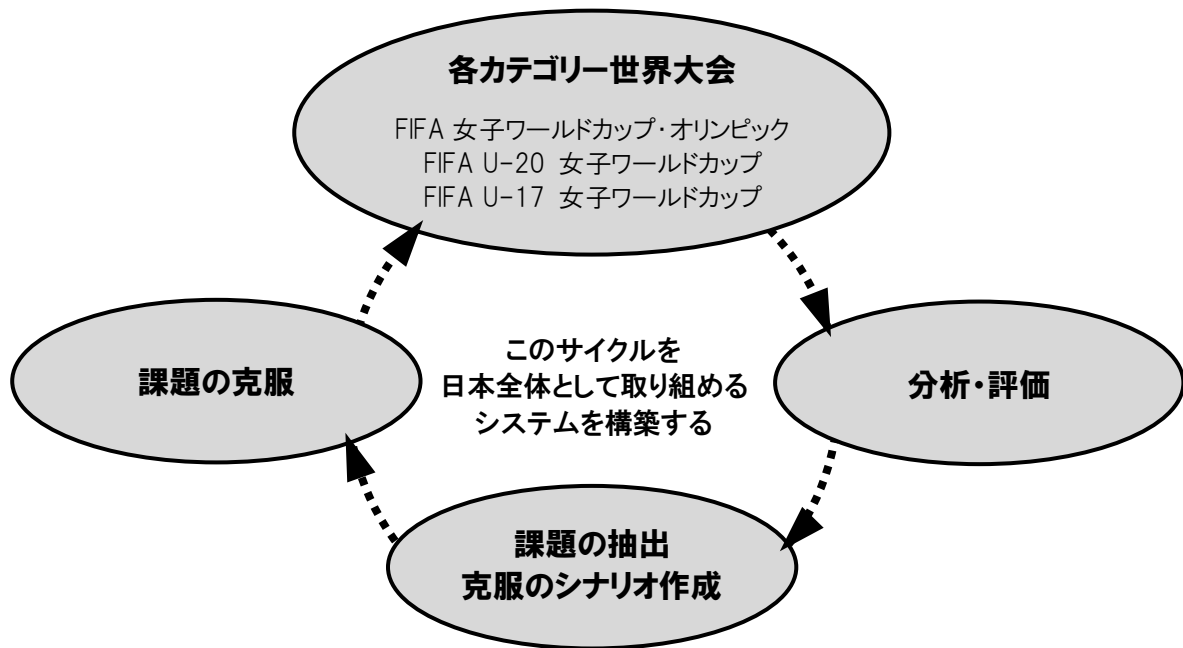
この「JFAテクニカルレポート」は、「テクニカルスタディ」の結果をまとめた報告書である。「テクニカルスタディ」とは、特定の大会等から、その大会の特徴、トレンドとしてのサッカーの発展傾向、技術・戦術上の特徴、課題、今後に向けた目標への提言、すなわちサッカーがどのような方向に向かっていて、そしてそれを受けて、今後何を目指していくべきかを示すものである。

世界のサッカー界で今や常識として行われているものであるが、日本サッカー協会(JFA)でも、常に世界をスタンダードとして育成・強化していくために、FIFAワールドカップ、オリンピックなどの世界大会でテクニカルスタディを実施している。

そして、①各カテゴリー(年代)の世界大会に出場→②分析・評価→③課題の抽出・課題克服のためのシナリオ作成→④課題の克服[各年代の日本代表チーム・ユース育成・指導者養成・普及]→再び①各カテゴリーの世界大会にチャレンジするという、世界大会をスタンダードとした強化策を推進している。すなわち、毎回の世界大会を分析し、その結果を短期・中期・長期的課題として、それぞれ指導現場へフィードバックするのがJFAテクニカルレポートの役割である。我々は近い将来を予想し、それに向けて育成年代から準備をしていかななくてはならない。

このJFAテクニカルスタディグループ(TSG)が作成する「JFAテクニカルレポート」、またリフレッシュ研修会などでの講習を通じて、世界や日本のサッカーの現状を伝え、「世界のトップレベルのプレーを支えている要因は何か」、「日本サッカーの進むべき方向性は何か」といったことを、日本全国の指導者と共有する。そして目標を具体的に提示して、今後の指導やトレーニング、特にユース年代の育成に生かし、日本サッカーのレベルアップへの取り組みにつなげていくことが一番の目的である。

このJFAテクニカルスタディグループ(TSG)が作成する「JFAテクニカルレポート」、またリフレッシュ研修会などでの講習を通じて、世界や日本のサッカーの現状を伝え、「世界のトップレベルのプレーを支えている要因は何か」、「日本サッカーの進むべき方向性は何か」といったことを、日本全国の指導者と共有する。そして目標を具体的に提示して、今後の指導やトレーニング、特にユース年代の育成に生かし、日本サッカーのレベルアップへの取り組みにつなげていくことが一番の目的である。



2007年から2008年にかけて女子の4つの世界大会が開催され、日本女子代表は全ての大会に出場した。我々はこの4つの大会においてTSGを編成し、各大会の分析を行った。それにより、各大会から世界の女子サッカーの現状を知るとともに、日本の現在地を確認することができた。そして、日本の進むべき道を見出し、今後の育成・強化につなげていくのである。

日本の女子サッカーは、各大会ともに「なでしこらしさ」を発揮し、メダルへと一歩と近づいた。すなわち世界の背中が見えてきたのである。しかし、この結果に甘んじていては、世界から後れを取ってしまう。なぜなら、世界はすでに分析・評価を行い、歩み始めているからである。

今回のテクニカルレポートは、単に各大会のテクニカル報告にとどまらず、Japan's Wayを導き出し、さらに育成年代で取り組むべきこととして、フィジカル、メディカルそしてメンタル面も加えた。

世界は前進していく。我々も世界を驚かせるようなサッカーを展開できるように着実に前進していかなければならない。そのための手引きとして、このテクニカルレポートを活用してほしいと願うのである。